

## 大宅中学校 学校沿革史

- 昭和 61. 4. 1 勸修中学校内に勸修中学校東分校として発足する。東分校教頭（野町常治）以下 21 名の教職員、生徒数 512 名（1・2 年 12 学級）
61. 9.16 東分校の校名を大宅中学校として校章を内定する
62. 1.21 東分校を大宅中学校として校歌を決定する（作詞 花房亀蔵氏 作曲 津田 治巳氏）
62. 4. 1 京都市立大宅中学校として開校。初代校長 野町 常治先生が就任
62. 4. 9 第 1 回入学式挙行（新入生 285 名 2 年生 257 名 3 年生 253 名）
62. 4.30 初代 PTA 会長として河村孟治氏が選出される。大宅中学校育友会が大宅中学校 PTA と改称される
62. 8.25 騒音対策対象 19 教室に空調機器設置完了
63. 3.15 第 1 回卒業式挙行（卒業生 251 名）
63. 5.24 第 2 代 PTA 会長として、吉川晋夫氏が選出される
- 平成元. 3.10 第 3 代 PTA として、河内正晴氏が選出される
- 元. 4. 1 第 2 代校長として、山本光治先生着任
- 元. 5.29 文部省指定 武道指導推進校決定
2. 3. 5 第 4 代 PTA 会長として、中本 隆氏が選出される
2. 4.15 大宅学区 20 周年記念事業実行委員会より、格技場壁面に「精力善用」「自他共栄」2 面が寄贈される
2. 5. 9 武道指導 1 年次報告
- 2.11.16 武装指導 2 年次報告
3. 3. 8 第 5 代 PTA 会長として、山手重信氏が選出される
- 3.11. 7 日本学校体育連合より、保健体育指導優秀校表彰
- 3.11. 8 武道指導 3 年次報告
4. 1. 4 第 3 代校長として、金子俊英先生着任
4. 3. 5 第 6 代 PTA 会長として、志賀輝男氏が選出される
5. 3. 6 第 7 代 PTA 会長として、岩崎徹也氏が選出される
5. 4. 1 第 4 代校長として、佐々木進先生着任
6. 3. 5 第 8 代 PTA 会長として、坂根健介氏が選出される
7. 3. 4 第 9 代 PTA 会長として、中田幸夫氏が選出される
7. 4. 1 第 5 代校長として、山崎嘉久先生着任
8. 3. 2 第 10 代 PTA 会長として、藤岡克文氏が選出される
- 8.10. 5 創立 10 周年記念行事開催
9. 3. 1 第 11 代 PTA 会長として、松林正高氏が選出される
10. 3.17 第 12 代 PTA 会長として、坂根健介氏が選出される
10. 4. 1 第 6 代校長として、白崎友久先生着任
11. 3. 6 第 13 代 PTA 会長として、富田敷明氏が選出される
12. 3.10 体育館への屋根つき渡り廊下完成
12. 3. 4 第 14 代 PTA 会長として、水上優氏が選出される
12. 9 カウンセリングルームを南棟 2 階に設置

13. 3. 3 第15代PTA会長として、水上優氏（2年連続）が選出される
13. 9 本館1階給食室、進路指導室、中棟2階いきいき交流ルームを設置
14. 3. 2 第16代PTA会長として、藤田晃一氏が選出される
14. 4. 1 第7代校長として、足立徹先生着任
14. 5 国立教育研究所、地域指定（14/15年度 生きる力を育む読書活動推進事業）
15. 3 第17代PTA会長として、北村伸史氏が選出される
15. 5 京都市指定 15/16/17年度 21世紀学校づくりステップアップスクール「小中連携」を受ける
16. 3 第18代PTA会長として、桑山謙氏が選出される
16. 4 文部科学省 構造改革教育特区「小中一貫教育」を認められる
17. 2.22 21世紀学校づくり 2年次報告会
17. 3. 8 普通教室空調設備10教室完了（騒音対策教室を除く）
17. 3. 第19代PTA会長として、小林一弘氏が選出される
17. 4. 1. 第8代校長として、室保次先生着任
18. 1.25 構内情報通信網設備工事完了
18. 2.23 21世紀学校づくり 3年次報告
18. 3 第20代PTA会長として、福井洋介氏が選出される
18. 8.31 教育特区小中一貫教育研究報告会
18. 9.30 創立20周年記念式典・祝賀会開催
- 19.3 第21代PTA会長として、福井洋介氏（2年連続）が選出される
19. 4 京都市より「LD等支援のための通級指導実践研究校」の指定を受ける
19. 5 南棟西階段に昇降機が設置される
19. 6. 通級指導教室の整備完成
20. 3. 第22代PTA会長として、宇田順子氏が選出される
20. 4. 京都市より「小中一貫教育推進校」に指定される
- 20.11.21 教育特区小中一貫教育研究報告会
21. 3. 第23代PTA会長として、由良稔氏が選出される
21. 4. 1. 第9代校長として、衛藤明夫先生着任
21. 4. 研究指定「小中一貫校としてのLD等通級指導教室の取組について」  
早期工学人材育成事業について市教委より指定を受ける
21. 6. 堀川高校コアSSH連携校として指定を受ける
21. 9. 「総合的な学習の時間」を利用した生き方探究教育（大宅版）
22. 3. 第24代PTA会長として、由良稔氏（2年連続）が選出される
22. 4. 岩屋太鼓の演奏が生徒会本部を中心に始まる
- 22.11.11 小中一貫教育、キャリア教育（コアSSH ポスターセッションの取組など）において、京都市教育委員会より表彰される
23. 1.14 キャリア教育において文部科学大臣賞を受ける
23. 3. 第25代PTA会長として、東健司氏が選出される
23. 4. ポスターセッションの取組が全学年で実施される

24. 3. 第26代PTA会長として、東健司氏（2年連続）が選出される
25. 2. 8. 小中一貫教育の一環として、小英研全国発表に参加、協力する
25. 3. 生き方探究教育（キャリア教育）について、全市の牽引的役割を果たす研究冊子が完成  
第27代PTA会長として、東健司氏（3年連続）が選出される
25. 4. 1. 第10代校長として、西村弘滋先生着任
25. 5. 堀川高校コアSSH連携校として指定を受ける
25. 8. 図書館のビフォア・アフターでリニューアルされる
26. 1.21. 「ふれあいトーク大宅中」が実施される
26. 3. 7. 第28代PTA会長として、山村俊雄氏が選出される
26. 5.. 堀川高校コアSSH連携校として指定を受ける
26. 7. 文部科学省より「道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業」の研究指定を受ける
26. 8. 京都市教育委員会より「英語教育推進研究拠点校」（4年間）に指定される
27. 2. 5. 文部科学省指定「道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業」研究報告会
27. 3. 第29代PTA会長として、栗田卯一氏が選出される
27. 4. 1. 第11代校長として、棕本久雄先生着任
27. 5. 堀川高校コアSSH連携校として指定を受ける
- 27.5.27 学力向上実践推進事業 重点支援校に指定される
- 27.10. 7. 「ふれあいトーク大宅中」が実施される
28. 2.26 英語教育推進研究拠点校事業で、大宅小学校にて中1生の研究授業を実施する（2年次/4年間）
28. 3. 第30代PTA会長として、栗田卯一氏（2期連続）が選出される
28. 9.27. 大宅中学校にて、体育祭が再興される
- 28.11.18 英語教育推進研究拠点校事業で、中1生、中2生の研究授業を実施する（3年次/4年間）
- 28.11.27. 創立30周年記念式典が挙行される
- 29.3 第31代PTA会長として、栗田卯一氏（3期連続）が選出される
- 29.3.28 学校運営協議会が発足する
- 29.4 英語教育推進研究拠点校事業
- 29.12 トイレの様式化  
普通教室等LED照明に転換される  
教室等の空調設備が整備される
- 30.3 第32代PTA会長として、東島一真氏が選出される
- 30.4.1 第12代校長として、中村季弘先生着任
- 31.3 第33代PTA会長として坂本 徹氏が選出される
- 31.4 京都市教育委員会より「中学校英語授業改善」「中学校英語教育の外部機関との連携」の研究指定を受ける

- R2.3 第3 4代 PTA 会長として平島 正基氏が選出される
- R2.4 京都市教育委員会より「中学校英語授業改善」の研究指定を受ける